

## 【 目標達成計画 】

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化や終末期に対してこれからというときに、看取りのご利用者に対応した。戸惑いや携われてよかった等いろんな思いがあった。ホーム内で勉強会等を開き今後の看取りケアに繋げる。	ご利用者の日々と違う変化に気付く。終末期のケアは家族の思いを受け、ご本人が安心して最期を迎えられるケアは何か職員一人ひとりが考え行動できるようにする。	看取りについての研修(法人の施設内研修)には積極的に参加する。ホーム内での勉強会で看取りとは何か、看取りケアとは何か、学ぶ機会を作る。	12ヶ月
2	27	日々の介護記録は記入し、情報を共有し実践に反映しているが、ケアプラン、介護計画、実践、記録、モニタリングの流れの理解が出来ていない。全て連動しているということ、理解することが必要である。	ケアプラン～モニタリングの流れを理解する。実践の中で気付きや変化を見逃さず、記録していく。	常日頃から、ケアプランや介護計画については、個別に説明する。個別カンファレンス時にも理解できるように説明していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

※項目の欄は、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入するか、コピーしてページを増やして下さい。